

きちんと知って確かな安心

ガソリン携行缶



の正しい使い方

-40℃



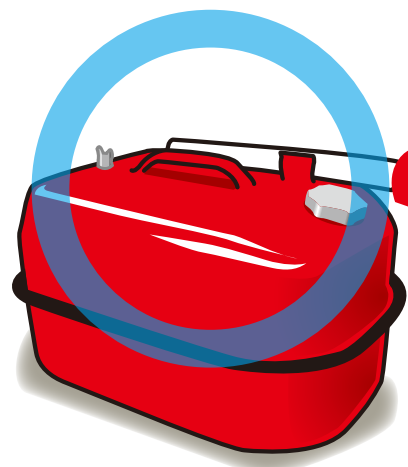
危険性について

ガソリンは気温が-40℃でも気化し小さな火源でも引火し爆発的に燃焼する物質です

軽油は+40℃で気化します



ポリ缶



容器について

灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険です

ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています



いらっしゃいませ!



セルフはだめだよ

購入について

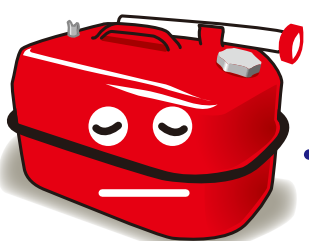
セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません

消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください

保管について

ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください

ガソリンは、揮発性が極めて高く火災が発生すると爆発的に広がるので保管時には注意してください



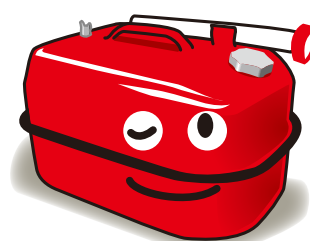
.....NNNN



取扱いについて

使用時には取扱説明書をよく読み適正な取扱いをしてください

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告があります



ラベルのついた確かな製品を選びましょう



※写真は試験確認済ガソリン携行缶の商品一例です。



これが安心の印です

「試験確認済証」



ガソリン携行缶には、使用上の注意事項が表示されています。よく読んで安全にお使いください。

このラベルは、消防法による容器性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。



危険物保安技術協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 (神谷町セントラルプレイス)

TEL. 03-3436-2353

<http://www.khk-syoubou.or.jp/>

危険物保安技術

検索

